

平成25年度鳥取力創造運動支援補助金（発展型・ネットワーク型）で採択された地域活動の紹介

NPO・ボランティア団体などが自発的に地域の活性化に取り組む地域づくり活動を支援する「鳥取力創造運動支援補助金」（発展型、ネットワーク型；第1次募集分）の採択事業のうち、中でも特にユニークな3事業を御紹介します。

（1）森のようちえん経営モデル化計画～鳥取県を森のようちえん王国にして、子育て移住の聖地にしよう！～ （（特非）智頭町森のようちえんまるたんぼう、智頭町）

平成21年から「森のようちえん」を実践している同団体は智頭町や県からの支援を受け、順調に入園希望者を増やしており、一昨年の震災以降、県外（特に東日本）の子育て世代からの入園・移住の問い合わせが急増しています。

既存の園「まるたんぼう」（定員28名）だけではこれらのニーズに答えきれないことから、今年度より2つ目の森のようちえん「空のしたひろば すぎぼっくり」（定員18名）を立ち上げ、更なる移住者の受け入れを進めていこうとするものです。

また、「すぎぼっくり」を運営しながら補助金に頼らない経営モデルを確立し、それにより県内外により広く「森のようちえん」が設立されていくことを目指しています。



◇見どころ◇

既に智頭町への移住者を受け入れておられる「森のようちえん」の取組みが、経営モデルとして確立され、県全域に広がっていけば、特に子育て世代にとって鳥取県がますます魅力的な移住地となることが期待されます。

◇お問い合わせ先◇

（特非）智頭町森のようちえんまるたんぼう 代表 ^{にしむら}西村 ^{きさこ}早栄子さん 電話：0858-71-0033（平日 15～17時）

（2）沿岸漁業で獲れる魚の付加価値向上と中野港の魅力発信のための漁村市の開催（境港飲食店組合、境港市）

カニ、マグロが水揚げされる境漁港では、漁業・観光ともに注目を浴び、様々な取り組みが行われていますが、小型船を中心とした沿岸漁業の基地である中野港は、同じ境港市にありながらあまり注目されていません。また同港で取り扱われる魚は一部を除いて低価格で取引されており、衰退が懸念されています。

そこで、中野港で漁業者による魚の対面販売や、手頃に食べられる海鮮料理の提供をする「漁村市」を毎月開催するとともに、PR用のステッカー等を作成・活用し「中野港ブランド」を確立し、魚価の向上と観光面での魅力向上を目指す取り組みです。



◇見どころ◇

6月22日（土）に開催された漁村市では、1,600人もの来客で大変盛り上がりました。沿岸漁業による朝どれ鮮魚の販売やワンコイン（500円）で食べられる「漁村食堂」「漁村弁当」が人気を集めています。

◇お問い合わせ先◇

さかいみなと中野港漁村市実行委員会（境港市産業部水産課） 電話：0859-47-1055

(3) 創ろうつながりあって生きられる希望の未来～映画「ベルナのしっぽ」上映と盲導犬啓発交流会～ (鳥取ハーネスの会、鳥取市)

鳥取県においても「ユニバーサルデザイン」などの考えが広まりつつありますが、障がいのある方とない方が共に普通に生活する社会の実現にはまだまだ課題があります。

鳥取ハーネスの会では、障がいのある方とない方がお互いに理解を深めるためには、単なる知識だけではなく実際に交流し、感性に訴えかける場が必要と考えて、盲導犬とともに自らも成長し、未来を切り拓いていく女性の姿を描いた映画「ベルナのしっぽ」の上映会と、盲導犬の体験歩行・相談会を実施することとしています(8月25日(日)、米子市)。



◇見どころ◇

映画の上映会には原作者の郡司ななえさんをお招きする予定です。原作者のお話を直接お伺いすることができ、また実際に盲導犬との触れ合いや、相談をすることができる貴重な機会です。

◇お問い合わせ先◇

鳥取ハーネスの会啓発担当 むらしま 村島 ゆうこ 祐子さん 電話：0857-27-4774 (鳥取市国府人権福祉センター内)